

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援 シュバル		
○保護者評価実施期間	令和6年12月11日		令和6年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 4名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	令和6年12月11日		令和6年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 2名	(回答者数)	2名
○訪問先施設評価実施期間	令和6年12月11日		令和6年12月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・さまざまな職種(保育士や児童指導員、言語聴覚士、理学療法士、乗馬インストラクター等)の人からの意見を取り入れ支援に活かしています。	・児童指導員・保育士に加え、言語聴覚士や理学療法士等の専門職によるアドバイスがもらえる環境や職員間で訪問前に事前にミーティングを行い、先生方が納得したうえでお子さまの支援や教育に携われるよう努めています。	・引き続き、事業所の強みを活かした連携を図り、先生方と共にお子さまをサポートしていきたいと考えています。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員個々において、専門性や支援力における「差」があり、課題と感じています。先生方への的確な助言やアドバイス、お子さまたちのより詳細なアセスメントを実施するためには、職員の質の向上が必要だと考えています。	・支援現場での経験を積み重ねることや専門的知識や技術を学ぶ機会が必要と考えます。	・左記の通り、支援現場での実践を重ねるとともに、セラピストからの助言やアドバイスを受ける機会を設け、専門的知識や技術を学ぶ機会をつくっていききたいと考えています。また、関係者(関係機関)との連携を密に図ることで経験を積み、職員の質の向上を図っていききたいと考えています。
2			
3			